

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		けやきアカデミー		公表日		令和7年 1月 30日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		6	
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		6		人数配置は適切である		
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		6		階段設置はありバリアフリー化ではないが手すりが付いている。また車椅子用のトイレがある	子どもたちに分かりやすく環境の整備や提示を適切に行っていく	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		6		整理整頓を心がけて居心地のいい空間を提供している	活動に合わせて広く使えるよう空間を作っています	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		6		不安定になった場合や個別対応が必要な場合は場所を提供しています	個別対応ができる空間を用意しています。部屋数自体は少ないので、これからも対応できる空間を用意していきます。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		6		ミーティングを行い、話し合うことのできる機会を設けています。	ミーティング等で課題になった内容をどうしたらいいかと意見を出し合い改善を行い、まずは実践し振り返り、さらにいい方法を探しながらと改善を行っている
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		6		保護者会や面談にて意向を聞く機会を設けている	意向を共有し、その内容を改善していきより良い施設の運営をできる日々改善しています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		6		面談を行っている	その内容を改善していける方法をアドバイスしたりと改善に向かっている
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6		今年第三者評価を行いました	アドバイスを聞き、結果に伴い業務改善に繋げより良い運営を日々努めています
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		6		様々な研修を準備していただいています	選択式になっており、質の向上に向けて仕事に役立つ内容を積極的に自身の学に繋げています
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		6		面談や保護者会で支援プログラムを説明しています	保護者会の開催が夏休みで沢山の方に参加していただけるように周知していきます
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		6		チームで支援会議を行って支援計画を作り、保護者面談にてお話ししています	保護者面談にてお話しし、保護者のニーズもしっかり把握し、計画を立てていけるようにしていきます
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		6		チームにて支援会議を行って意見を出し合っています	話し合いの意見をもとに同じ方向性を向いて支援していけるよう共通理解の下で支援を行えるよう努めている
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		6		振り返りや支援会議にて職員で共有し計画に沿って支援している	日々の振り返りなどから子どもたちに合わせた計画を立てていきます
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		6		日々の行動観察や様子の振り返りを行い、ノートへ記入している	ノートに記入して支援等を読み返せるようにしています 休みのスタッフは必ず読んで把握するよう心がけている
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		6		支援内容を踏まえ計画を立てている	個別計画に基づき、一人一人にあった具体的な支援内容を検討し設定している
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		6		チームで立案し、イベントや活動、季節に合わせた内容などを考えている	一人一人のスキルアップの為に週で個別で計画を立てチームで話し合い活動立案をしていくように改善しました
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。		6		週変わりや計画を立て、内容に固定化がないように計画を立てる指導員を変えながら対応している	固定化していかないように、日々の子どもたちの興味などをしっかり見ている

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	個別と集団を組み合わせ、状況に合わせて対応している 指導員や子どもの配置なども工夫している	状況をしっかり把握していき、計画や支援を考えていきます	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	13時から昼礼を行い、活動内容、役割の確認を行っている	振り返りの際にでた内容を次の日に改善していけるようにチームで連携をしていく	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	翌日が休みのスタッフを中心に振り返りを行い、翌日の朝礼にて再び振り返りを行うことで気づいた点などを共有しています	ノートに記録し、共有をしています ヒヤリハットや交通安全にも繋がっていきます	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	振り返りノートを作成し、記憶にとっています。	休みだったスタッフに次の日に必ず見ていただく	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	会議にてみんなで話し合いをし支援方向の見直しを行っている	児童の状況に合わせて支援の方向を変更している	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	6	意識し組み合わせ活動を行っている	地域交流に関しては公園活動を行っているが、より多くの地域交流の機会を提供していけるよう努めていく。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	おやつや活動の選択など、個人の意見を尊重し支援を行っている	余暇活動や活動などの内容を自己選択できるようにしています	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	学校との支援会議などは児発管が参加している	相談支援との共有もしている	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	学校などの共有の中で保護者さまと相談し支援を行っている 主治医の話は保護者さまから共有頂き、支援プログラムにいられている		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	学校に電話等で連絡を取り、情報共有や連絡調整を行っています		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	相談支援の共有や保護者様からの共有はされていますが、直接就学前に利用していた保育所等と連絡をとるなどはしていません。		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6		該当する児童がいない為、今後該当する児童が卒業した際に情報提供をしていきます。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	5		地域の児童発達支援センターとの連携はありませんが、外部から講師を呼び研修をして頂いている
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	児童クラブなどの交流はないが、地域との子どもたちと公園や外出にて交流することはあります。	より多くの地域交流が行えるよう、機会を設けていきます。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6		本部の方が参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		お電話や面談、送迎時などで伝え、意見を聞き、共通理解を持てるようにしています	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		保護者様に事業所内で行っている支援内容を伝え、家庭内でも取り組んでいただけるよう情報共有をおこなっています	家族での対応方法の参考内容などを聞き、事業所での取り組みの情報も提供していく
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に保護者様にお伝えしている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		面談の機会を設け、家族の意向を確認している	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		送迎時や面談の機会等で保護者様に内容説明を行い、サインをいただいています	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		お電話や面談、困っていることを聞いています。アドバイスなどをしています	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6		夏休みに、保護者会、夏祭りを開催し、保護者様同士や兄弟等の交流を行っている	夏休みに開催の為、出席できる人が少ない事が課題です。時期を再度、調整していきます
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		すぐに面談を行い、ききとりをし、迅速に対応しています。	忘れ物や連絡ミスなどで苦情に繋がらないようにしています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		hugやsnsを使って週1で投稿している。3ヶ月に一回お便りを作っている イベント等は、公式ラインにて公表している。	どういったところに行きたいかなどを子どもたちに聞いたり、保護者向けアンケートなども実施予定です
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		個人情報ファイルは鍵付きロッカーで保管しています	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		LINEなどを使い丁寧に確認をしている。外国籍の方には翻訳機を使いお知らせしている	翻訳しプリントに書いたりしたり、手紙を書いて渡している
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6		祭り等を開催するときに地域の人たちを招待できるようにしていきます	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		面談の際に緊急時の対応についてはプリントにて保護者様にお伝えしている。また職員への周知もしている。訓練は1年に2回行っている。また外部講師を招いて研修を行っている	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		年に二回避難訓練を行っている。外部講師の呼び、定期的勉強会を取り組んでいる	取り組んだことを保護者様に伝えていく
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		服薬が始まった場合は保護者さまからの共有を頂き対応している	てんかん発作等に関してはフェイスシートで確認し、服薬等は保護者様に確認しています
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		食物アレルギー対応シートを保護者様に記載してもらい、対応している	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		半年に1回、全スタッフで安全管理について研修を行っている	外部講師より、施設内の危ない箇所等を教えて頂いた施設内にて支援を行っている。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		災害ダイヤルを活用した訓練を行っている。避難場所等の内容を周知している。	周知をしっかりしていく
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		第3週目がヒヤリハット週間になっている。その内容を確認し、その内容を会議で発表している。また、それらの改善に努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		虐待研修は、年に一度全従業員が取り組んでいる	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		個別支援計画の備考欄に記載している	面談等で保護者様に説明し、了解を得て記載しています	